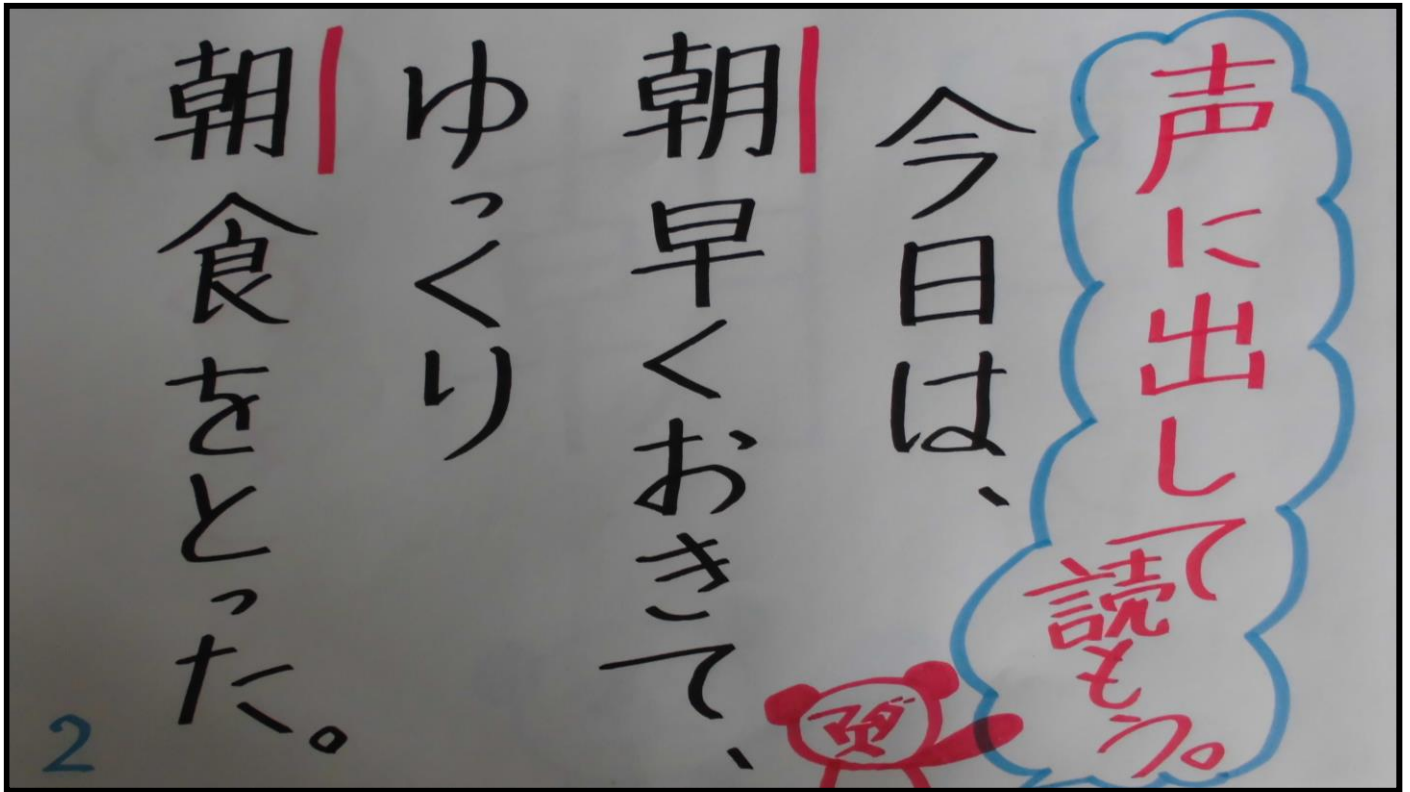
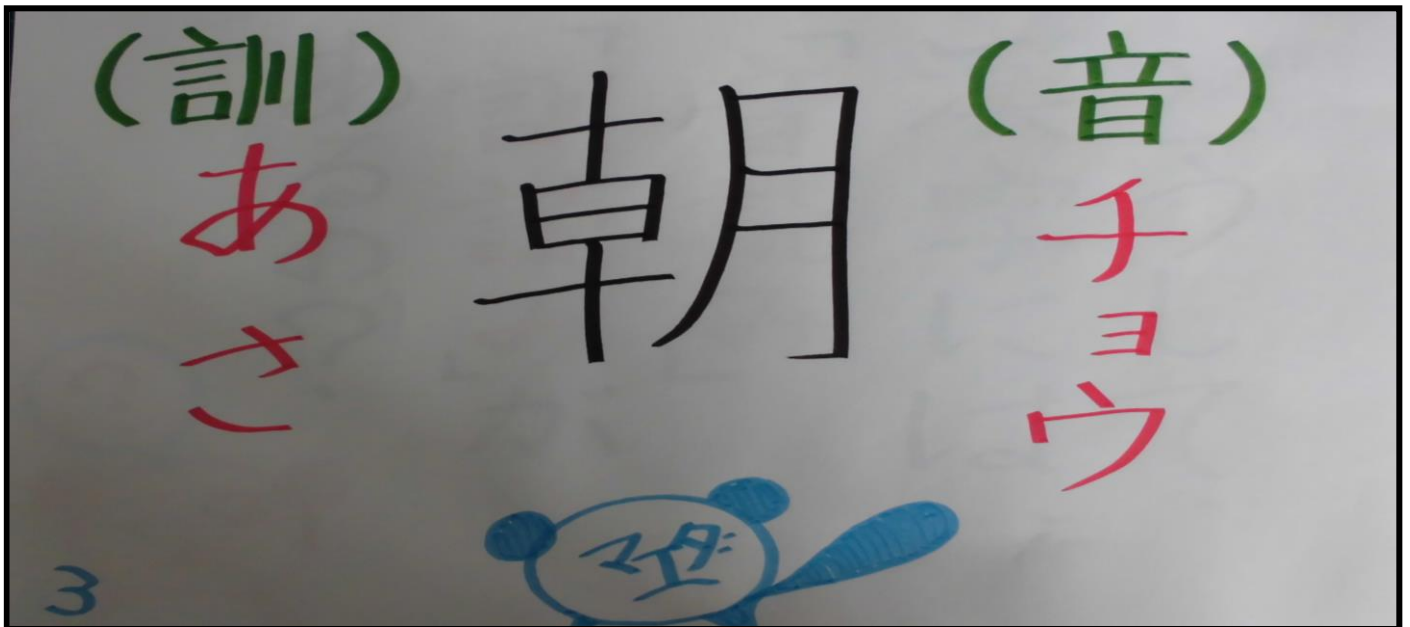


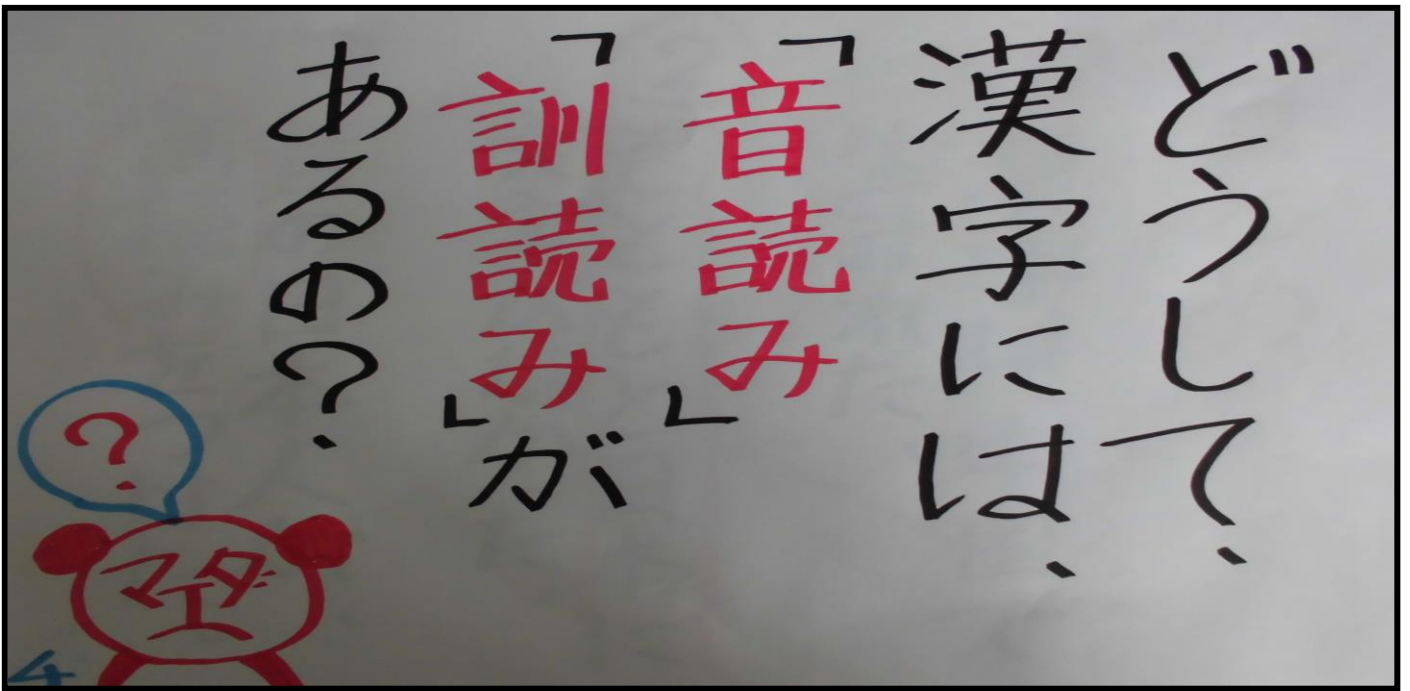


まず、上に書かれてあるみじかい文を読んでみましょう。

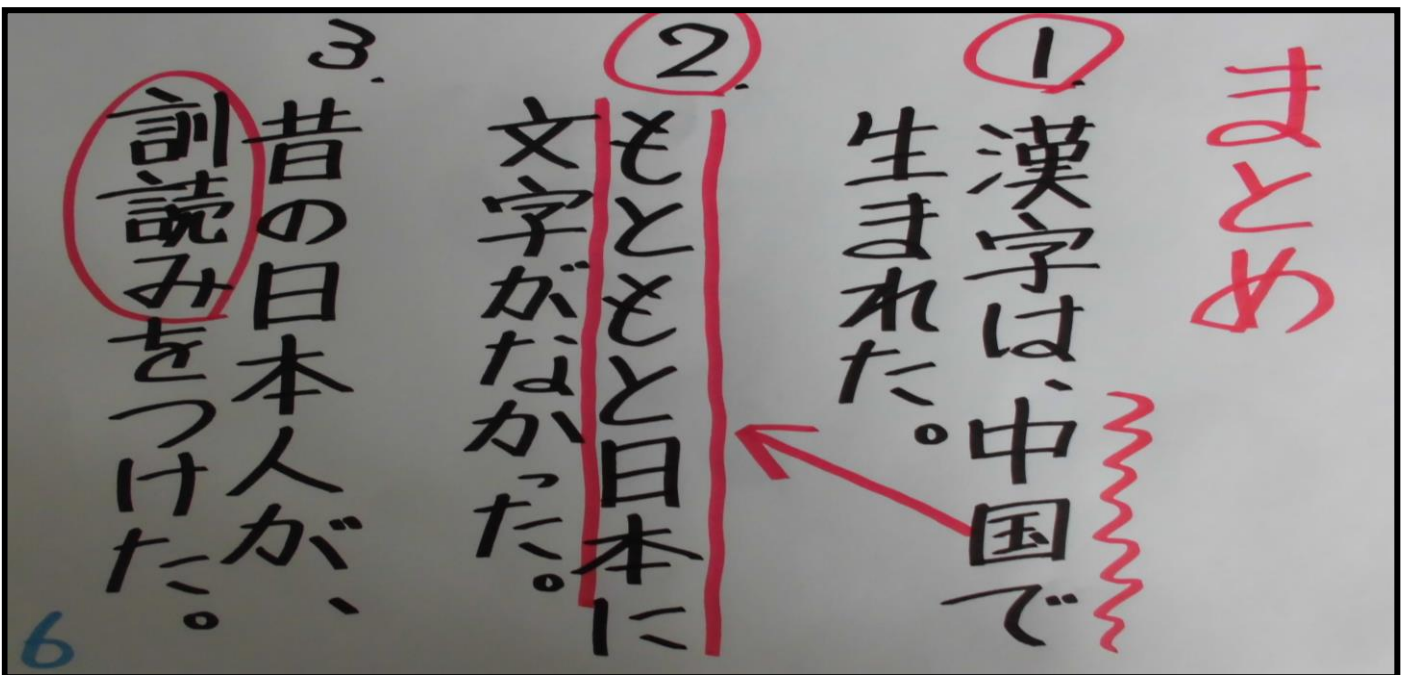
「きょうは、あさはやくおきて、ゆっくりちょうしょくをとった。」



「朝」という漢字は、音読みでは「ちょう」、訓読みでは「あさ」ですね。このように、わたしたちが知っている漢字の多くには、二通りいじょうの読み方をするものが、たくさんありますね。



どうして漢字には、「音読み」と「訓読み」があるのでしょうか。教科書 38 ページ~39 ページを読んでみましょう。できれば、声に出して読んでみるといいですね。



教科書に書いてある通り、①まず、漢字は、大昔の中国で作られた文字なのです。②また、大昔の日本には、お話しすることば（日本語）はありましたが、書くための文字というものはありませんでした。そこで、中国からつたわってきた漢字を日本でも使うようになりました。③やがて、日本のことばを漢字の読み方にプラスしていきました。これが「訓読み」です。